

デロンギ・全自動エスプレッソマシン 〈業務用モデル〉 Mod, ESAM1500DJ

✓よくあるご質問
✓トラブルシューティング

本資料の使用方法は、次ページの「もくじ」をご覧ください

2015年8月現在
デロンギ・ジャパン株式会社
ホレカ事業部



Web上でご確認いただく場合は、知りたい内容をクリックしていただくと掲載ページにジャンプします。プリントアウトも可能です。是非ともご活用ください。

● ページ

● 内容

3	1 ; 自動的に電源が切れていた
4	2 ; お湯が出ない
5-7	3 ; コーヒーが抽出されない / コーヒーの抽出がおそい (ポタポタとしか抽出されない)
8	4 ; コーヒーが片方の抽出口からしか出てこない、コーヒーが抽出口からではなくフロントドアから出てきた
9	5 ; コーヒーの抽出が早い、クレマが少ない
10	6 ; コーヒーがぬるい
11-15	7 ; フロスミルク/スチームミルクが出てこない
16-18	8 ; ミルクがぬるい
19	9 ; 熱めのカフェラテを作りたいときは
20	10 ; 抽出ユニットが取り外せない
21	11 ; 抽出ユニットの取付ができない
22	12 ; 「ミズタンクチュウイ」のメッセージが消えない
23	13 ; 「ドアチュウイ」表示
24	14 ; 「チュウシュツユニットヲセット」表示
25-26	15 ; 「マメリユウドエラー ノズルトリツケOKヲオス」表示
27	16 ; 除石灰 (ジョセツカイ) 表示が消えない
28	17 ; 豆が挽けない / グライNDERが空回りする
29	18 ; 豆を挽く時間が長くなった
30	19 ; 水硬度を計っても、チェッカーの色が変わらない
31	20 ; 異音がする / ビー音や大きい音

1 ; 自動的に電源が切れていた

- 本体を使用しない時間が長く続いた場合、1時間後に自動的に電源がOFFになるよう初期設定されています。オートオフ機能は1時間後、2時間後、3時間後の3通りで設定可能です。

オートオフ時間の設定を変更するには

① MENUボタンを押してから、NEXTボタンを5回押し、「オフ：1ジカンゴ」を表示させる

MENUボタンを押して...
(MENUランプが点灯します)

下段の文字が自動送りで表示されます。

② NEXTボタンを5回押す。

オートオフ時間の設定が変更されました。

③ CHANGEボタンを押して、お好みの時間を選ぶ

※ ボタンを押すたびに、「1ジカンゴ」→「2 ジカンゴ」→「3 ジカンゴ」...と切り替わります。

オートオフ時間が3時間に変更されました。

④ OKボタンを押す

電源が切れるまでの時間がセットされます。
※ 再度MENUボタンを押すと、通常モードに戻ります。(MENUランプは消灯します)

2 ; お湯が出ない

- 下記のような原因で、ポンプが空吸いしていることが考えられます。
 - 抽出中に、給水タンクを外して給水した
 - 給水タンクの出し入れで、マシンの内部に空気が入ってしまった
 - しばらく使っていなかった

給湯を行います（給水タンクに水を入れてから行う）

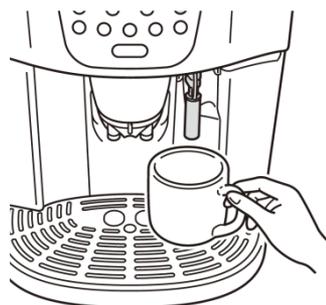
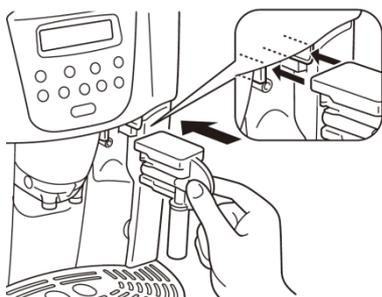
給湯ノズルをセット

>>

カップをセット

>>

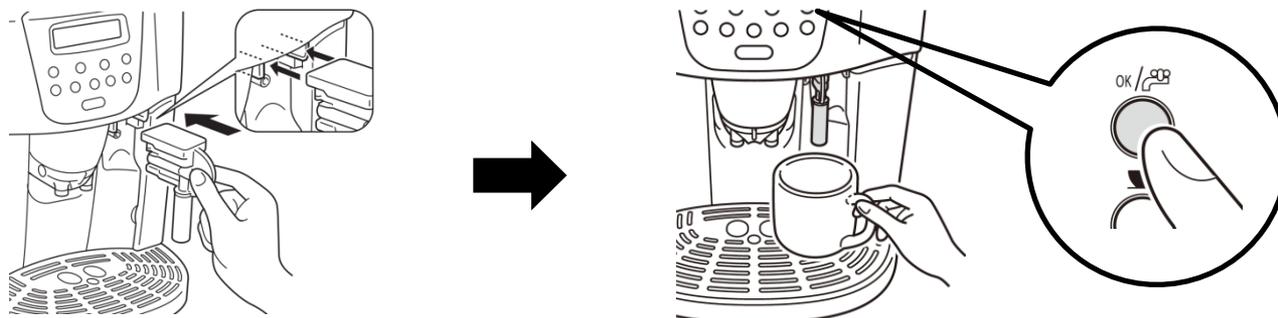
（給湯/OK）ボタンを押す



改善されなかった場合は、お手数ですがデロンギ・エスプレッソコールセンターへご連絡下さい

3-1 ; コーヒーが抽出されない / コーヒーの抽出がおそい (ポタポタとしか抽出されない)

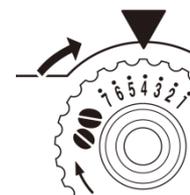
① 給湯ノズルをセットし、ノズルの下にカップを置いて給湯を行う



② グライNDER目盛 (コーヒー粉使用の場合はパウダー投入口) を調整

<コーヒー豆を使用の場合>

「グラインダーノブ」を粗いほうに 1 目盛回してください。



「7」の方向 (粗い方) に 1 目盛回す

「グラインダーノブ」は必ず「グラインダー」が作動している時に回してください。

<コーヒー粉から抽出の場合>

投入するコーヒーの粉の量を減らしてください。電源オフ時にコーヒー粉を投入してしまった場合は、本体内部および抽出ユニットのお手入れを行ってから再度抽出してください。

次ページに続く

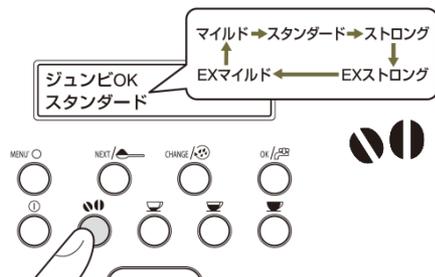
もくじへ戻る

DeLonghi

3-2 ; コーヒーが抽出されない / コーヒーの抽出がおそい (ポタポタとしか抽出されない)

③ コーヒーの濃さ (量) を確認

<コーヒー豆を使用の場合>



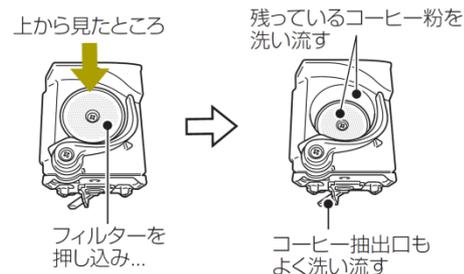
 ボタンで、前回よりも
うすく抽出してみてください。

EXマイルド マイルド スタンダード ストロング EXストロング

量を少なく (うすく) する

④ 抽出ユニットを確認

抽出ユニットに目詰まりがあるようでしたら、抽出ユニットを取出し、水に約5分間浸した後、フィルターに残っているコーヒー粉を水で流し抽出ユニットを洗浄する。



抽出ユニットは電源を切らないと取り外しできません。

抽出ユニットは洗剤や研磨剤、漂白剤は使用しないで必ず水洗いのみで洗浄してください。食器洗浄機は使用できません。

次ページに続く

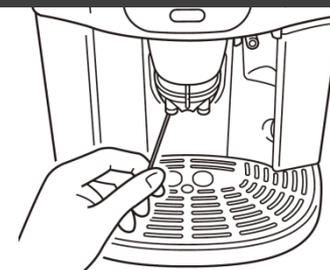
もくじへ戻る

DeLonghi

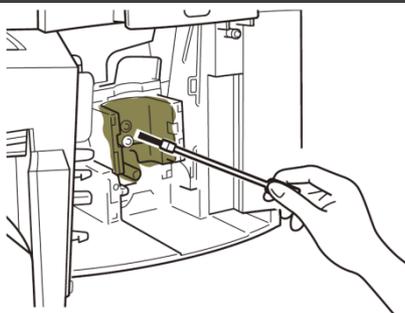
3-3 ; コーヒーが抽出されない / コーヒーの抽出がおそい (ポタポタとしか抽出されない)

⑤ 抽出口を清掃する

抽出口を確認し、汚れが詰まっている場合はブラシや爪楊枝などを使って清掃し、固く絞った濡れ布きんで拭きます。



⑥ 本体内部を清掃する



本体内部の清掃は、必ず背面の主電源をOFFにし、抽出ユニットを外してから行ってください。

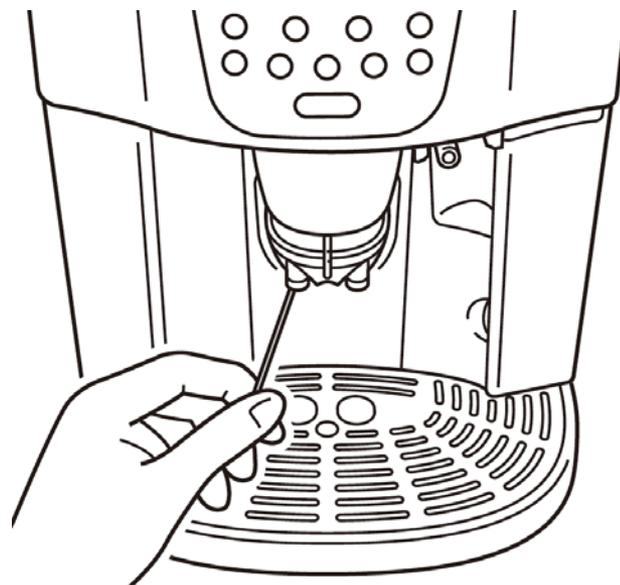
付属のブラシを使ってコーヒー粉などを落として清掃してください。

4 ; コーヒーが片方の抽出口からしか出てこない、 コーヒーが抽出口からではなくフロントドアから出てきた

- 片方の抽出口が詰まっていることが考えられます

抽出口を清掃する

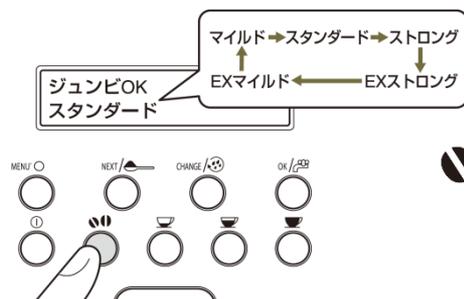
抽出口を確認し、汚れが詰まっている場合は
ブラシや爪楊枝などを使って清掃し、固く絞っ
た濡れ布きんで拭きます。



5 ; コーヒーの抽出が早い、クレマが少ない

① コーヒーの濃さ（量）を確認

<コーヒー豆を使用の場合>



EXマイルド マイルド スタンダード ストロング EXストロング

量を多く（濃く）する

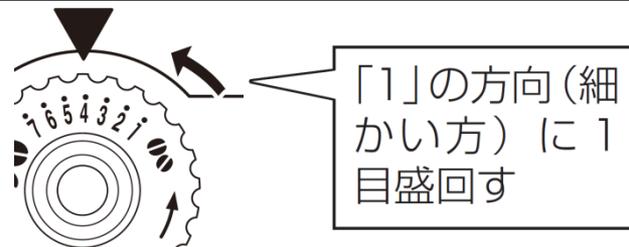
ボタンで、前回よりも濃く抽出してみてください。

最初は何度かコーヒーを作りながら、お好みの濃さになる位置を確認してください。

② グライNDER目盛（コーヒー粉使用の場合はパウダー投入口）を調整

<コーヒー豆を使用の場合>

「グラインダーノブ」を細かいほう（1の方向）に1目盛回してください。



「グラインダーノブ」は必ず「グラインダー」が作動している時に回してください。

<コーヒー粉から抽出の場合>
投入するコーヒーの粉の量を増やしてください。電源オフ時にコーヒー粉を投入してしまった場合は、本体内部および抽出ユニットのお手入れを行ってから再度抽出してください。

6 ; コーヒーがぬるい

抽出温度の設定を確認・変更する

コーヒーの抽出温度を設定できます。温度は**ヒクメ・フツウ・タカメ**から選択できます。現在の設定をご確認ください。

* 初期設定は「タカメ」になっています。

① MENUボタンを押し→NEXTボタンを4回押し「オンド：●●●」（●は現在の温度設定内容）を表示させる。

② 現在の温度設定内容が「オンド：ヒクメ」または「オンド：フツウ」でしたら、CHANGEボタンで変更します。

オンド：ヒクメ

→「フツウ」か「タカメ」に変更

オンド：フツウ

→「タカメ」に変更

③ 設定内容を表示させ、OKボタンを押して設定を終了する。

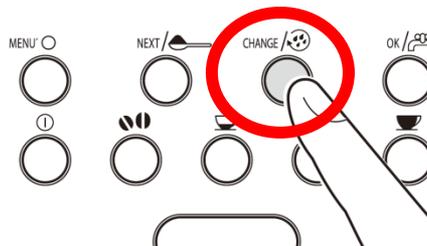
本体内部を温める

本体内部を温めておきます。

コーヒー抽出口の下に容器を置き、



内部洗浄ボタンを押し、お湯を出す。



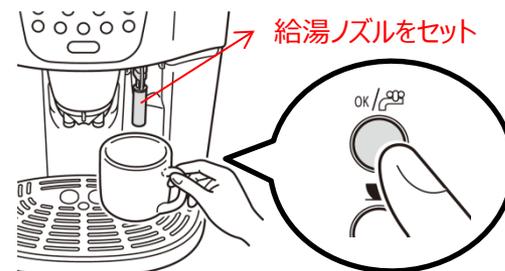
カップを温めておく カップを湯せんする

カップが冷たいとコーヒーの温度が奪われ、クレマが薄くなったり、アロマが失われてしまいます。

カップをカップウォーマートレイにのせて温めておきます



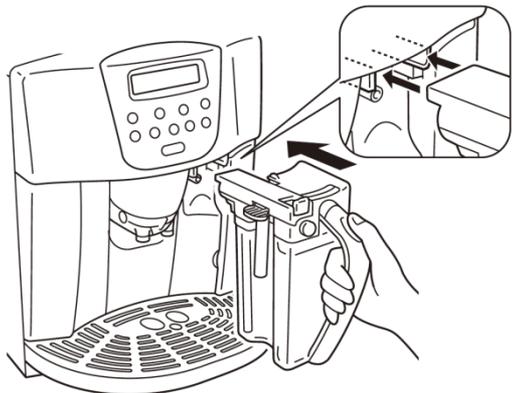
給湯機能、または別に用意したお湯を使い（※）カップを湯せんする



※別に用意したお湯で湯せんを行うときはヤケドに注意

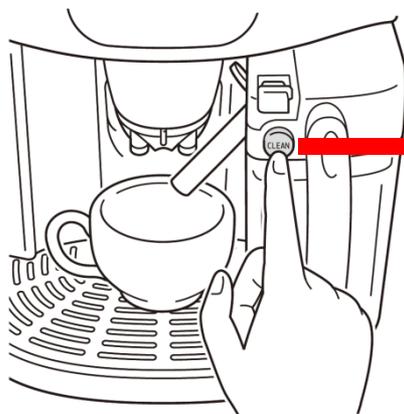
7-1 ; フロスミルク/スチームミルクが出てこない

- ミルクコンテナがきちんとセットされていますか？



本体にしっかりと押しこんでセットしてください

- 毎回のミルク使用後に、CLEANボタンを押していますか？



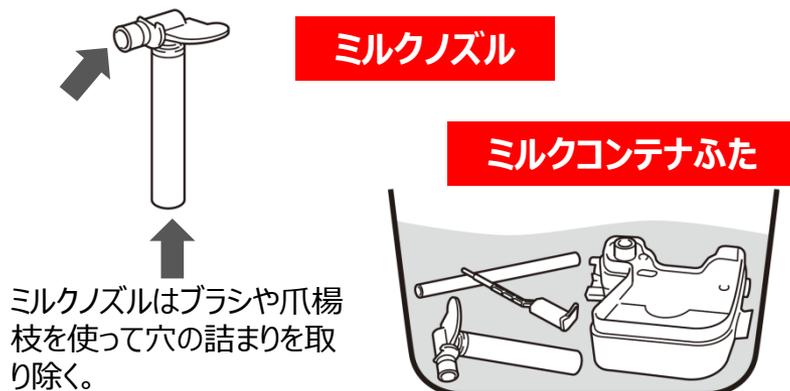
CLEANボタン
を長押しし、
汚れを取り除く

衛生のためにも、使用後は毎回必ず
ミルクノズルを洗浄してください。
牛乳が内部に残ったり、固まったりする
のを防ぎます。

次ページに続く

7-2 ; フロスミルク/スチームミルクが出てこない

- 牛乳の通り道が詰まっている可能性



ミルクノズルとミルクコンテナふたを、ぬるま湯と食器用洗剤でしっかり洗う。洗剤を溶かしたぬるま湯に浸けて洗浄することも効果的です。

注ぎ口洗い用ブラシ（市販）を使用したお手入れも効果的です



ブラシを使って、コンテナふた・ミルクノズルの穴が空いている部分を清掃します。

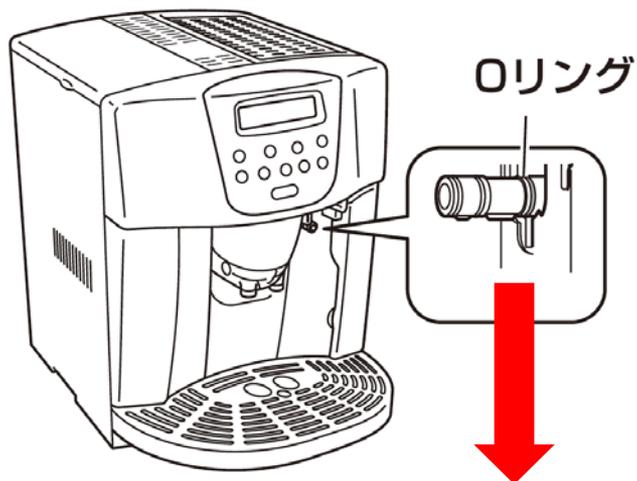


ミルク関連部品は、営業終了後、入念にお手入れを行ってください。

次ページに続く

7-3 ; フロスミルク/スチームミルクが出てこない

- スチーム管のOリングは装着されていますか？



スチーム管にはOリングが3か所についています。1か所でも欠けているとミルクが吸い込みません。

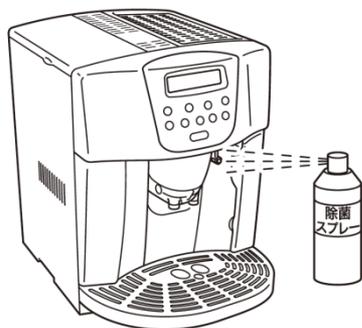
接続部のOリング(緑・黒・赤の3つ)
の状態をチェックし、ヒビや傷などで
消耗している場合は交換してください



次ページに続く

7-4 ; フロスミルク/スチームミルクが出てこない

- スチーム管のお手入れをしっかりと行ってください。



* 先の細い柔らかいブラシや、湿らせた綿棒などを使って、奥のOリング（3か所）部分までしっかり清掃を行う。

* 固く絞った濡れ布きんで、スチーム管を拭く。
（除菌スプレーなどを使うとより衛生的です）



① 給湯ノズルを取付け、給湯を行う。

② ミルクコンテナ⇄本体の接続部の突起部分にこびり付いた汚れを、ブラシなどで取り除く。

③ 同様に突起部分の空洞内部の汚れを、ブラシなどで取り除く。

（汚れを押し込まないよう、ブラシを回転させる）

④ 再度給湯ノズルを取付け、給湯を行う。

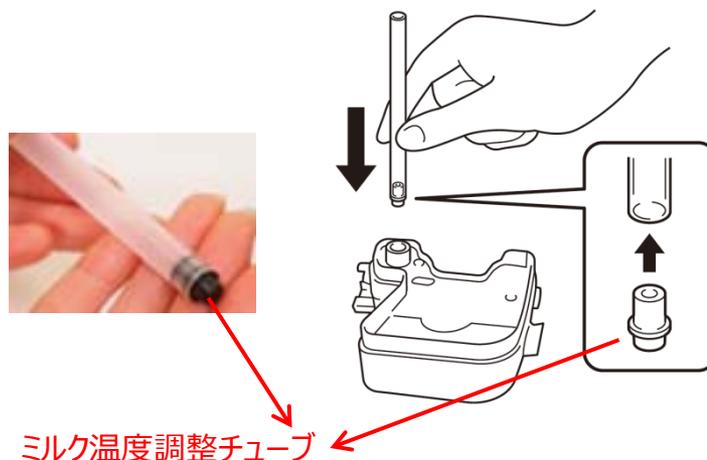
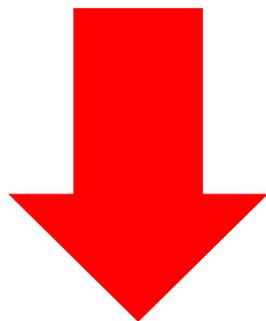
⑤ 突起部分にアルコールスプレーを噴射し、自然乾燥させる。

次ページに続く

7-5 ; フロスミルク/スチームミルクが出てこない

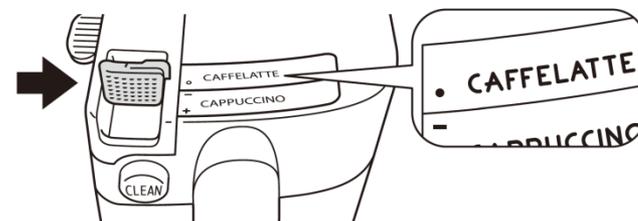
- 「ミルク温度調整チューブ」をお使いの場合はご確認ください。

① 付属の「ミルク温度調整チューブ」を取り付けている場合は・・・



② 「フロス調整つまみ」は必ず「CAFFELATTE」の位置にセットしてください。

「ミルク温度調整チューブ」を取り付けると、ミルクの泡立ちは少なくなります。
(「ミルク温度調整チューブ」は、より熱いカフェラテを淹りたい場合に使用します)



8-1 ; ミルクがぬるい

- 牛乳は適正するものをお使いいただいていますか？

10℃以下に保存された成分無調整/乳脂肪分3.0%以上の牛乳をお使い下さい。



写真は別モデルのイメージです

ミルクコンテナに入れた牛乳をしばらく使用しない場合は、必ず冷蔵庫で保管しておいて下さい。（当マシンには冷却機能はございません）

- CLEANボタンを押してミルクノズルを温めてください



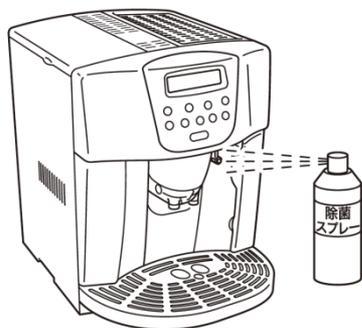
冷蔵庫から出したときなど、ミルクノズルが冷えていると温度が下がる原因となります。蒸気を出して、ミルク通り道とミルクノズルを温めます。

衛生のためにも、使用後は毎回必ずCLEANボタンでミルクノズルを洗浄してください。牛乳が内部に残ったり、固まったりするのを防ぎます。

次ページに続く

8-2 ; ミルクがぬるい

- 汚れ付着の可能性。スチーム管のお手入れをしっかりと行ってください



* 先の細い柔らかいブラシや、湿らせた綿棒などを使って、奥のOリング（3か所）部分までしっかり清掃を行う。

* 固く絞った濡れ布きんで、スチーム管を拭く。
（除菌スプレーなどを使うとより衛生的です）



① 給湯ノズルを取付け、給湯を行う。

② ミルクコンテナ⇄本体の接続部の突起部分にこびり付いた汚れを、ブラシなどで取り除く。

③ 同様に突起部分の空洞内部の汚れを、ブラシなどで取り除く。

（汚れを押し込まないよう、ブラシを回転させる）

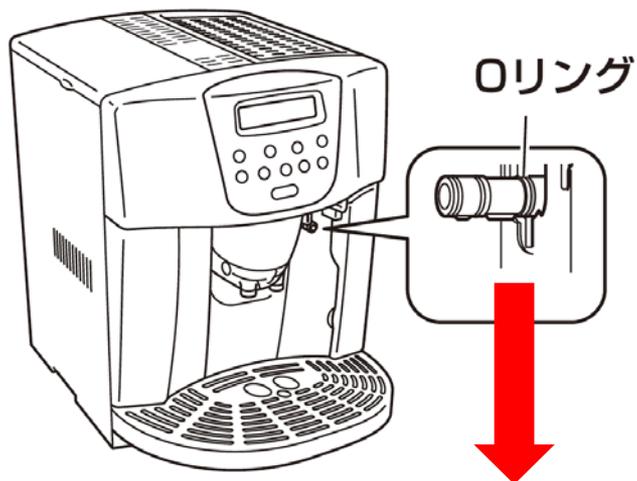
④ 再度給湯ノズルを取付け、給湯を行う。

⑤ 突起部分にアルコールスプレーを噴射し、自然乾燥させる。

次ページに続く

8-3 ; ミルクがぬるい

- スチーム管のOリングは装着されていますか？



スチーム管にはOリングが3か所についています。

接続部のOリング(緑・黒・赤の3つ)
の状態をチェックし、ヒビや傷などで
消耗している場合は交換してください

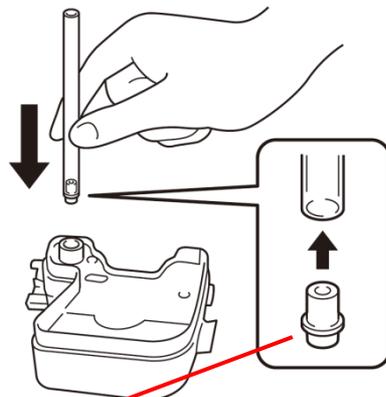


9 ; 熱めのカフェラテを作りたいときは

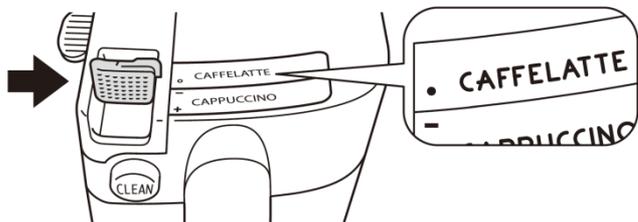
- 付属のミルク温度調整チューブを取り付けます



ミルク温度調整チューブ



ミルク温度調整チューブは取付する方向が決まっています。イラストに合わせて差込み部が長いほうをミルク吸入チューブに取り付けてください。

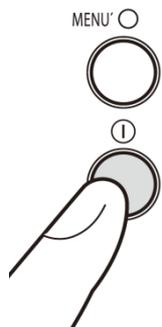


ミルク温度調整チューブをお使いになるときは「フロス調整つまみ」は必ず「CAFFELATTE」の位置にセットして下さい。

「ミルク温度調整チューブ」を取り付けると、ミルクの泡立ちは少なくなります。
(「ミルク温度調整チューブ」は、より熱いカフェラテを淹れたい場合に使用します)

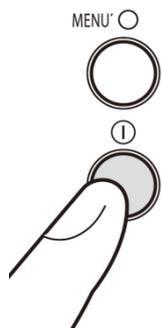
10 ; 抽出ユニットが取り外せない

- 抽出ユニットは電源を切らないと取り外しできません。



電源をOFFにします。自動内部洗浄が行われ、内部の操作音が完全に止まったら、取り外してください。

- 既に電源がOFFの状態を取外できない場合は・・・



電源をONにします。自動内部洗浄が行われ、内部の操作音が完全に止まったら、また電源をOFFにします。内部の操作音が完全に止まったら、取り外してください。

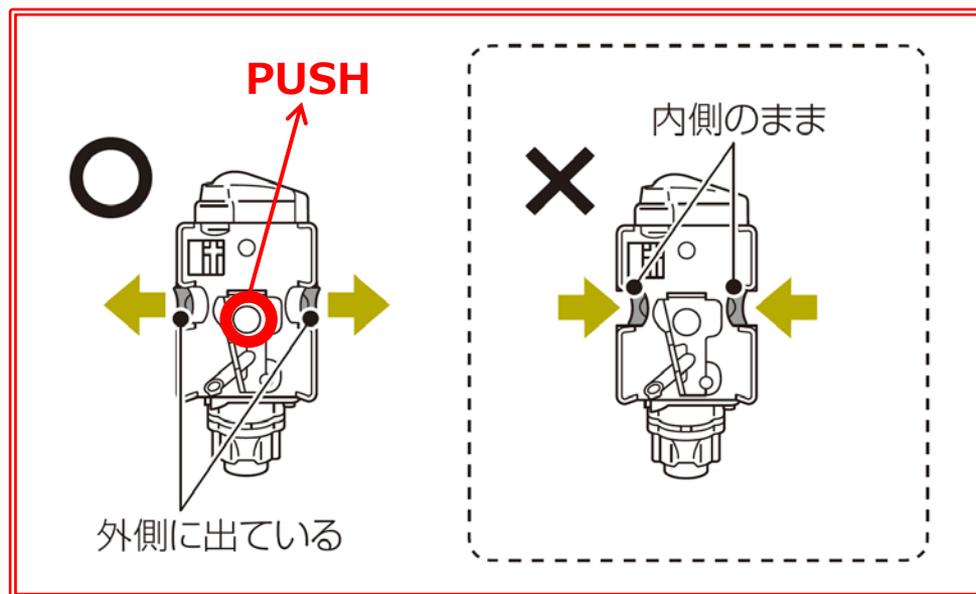
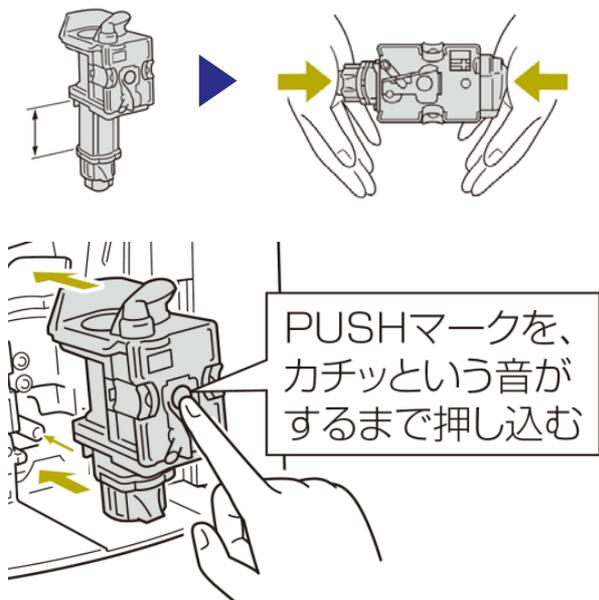
11 ; 抽出ユニットの取付ができない

- 抽出ユニットは電源を切らないと取り外しできません。



電源をOFFにし、内部の操作音が完全に止まったら取付けできます。

抽出ユニットが伸びていたら、ユニットを縮めてから本体に装着します。



12 ; 「ミズタンクチュウイ」のメッセージが消えない

- 給水タンク内の水不足、または本体にしっかりとセットされていない
 - 給水してから、本体にしっかりとセットしてください
 - 給水タンクと本体の間に異物が挟まっているか確認します
- 給水タンク内のフロートの状態を確認してください。

給水タンク内のフロートの状態を確認してください

給水タンク内のフローが入っていない

→フロートが無いと水量が感知されません。きちんと装着してください。

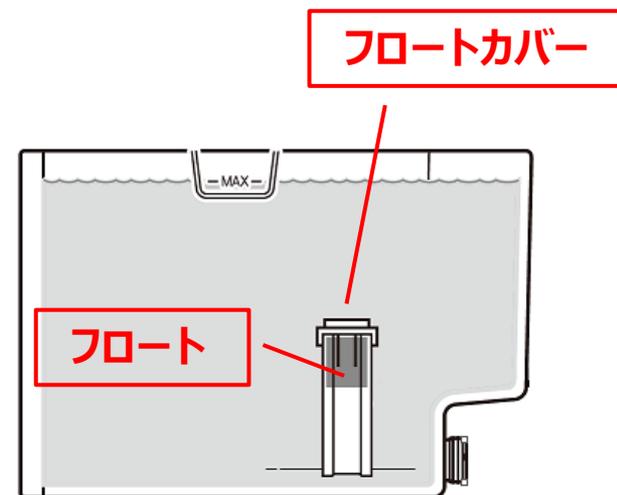
給水タンク内のフロートが浮いていない

→水を捨てタンクを空にしてから振ります。

再度水を入れ、きちんとフロートが浮いているか確認してください。

フロートカバーが外れている

→フロートカバーを正しくセット

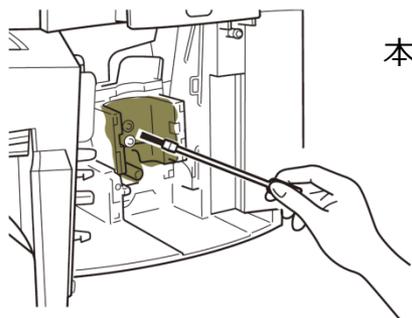


13 ; 「ドアチュウイ」表示

- 「フロントドア」が開いているか、きちんと閉まっていません。

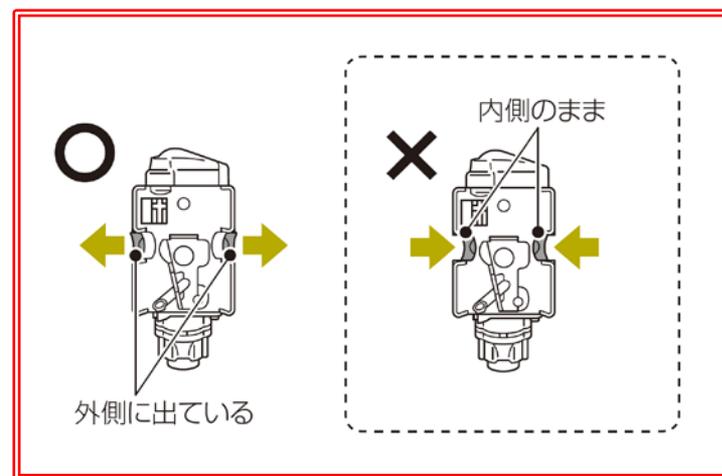
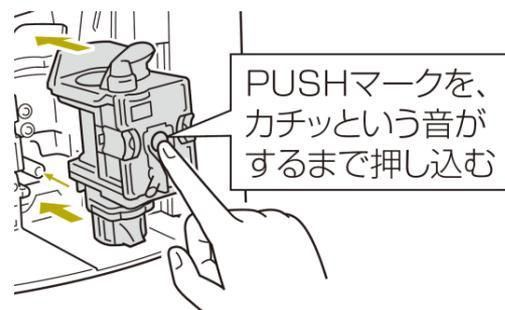
抽出ユニット、カス受け、トレイが正しくセットされていますか？

本体内部がコーヒー粉などで汚れていると、トレイが正しくセットできません。



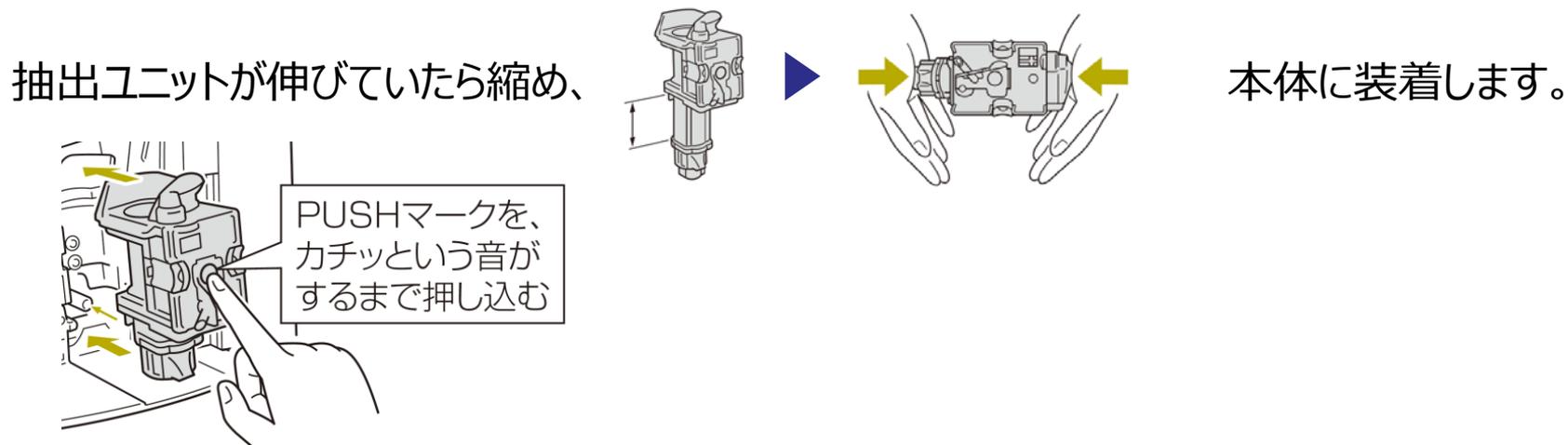
本体内部の清掃は、必ず背面の主電源をOFFにして行ってください。

抽出ユニットを正しく取付けしてください。



14 ; 「チュウシュツユニットヲセット」表示

- 抽出ユニットがセットされていないか、正しくセットされていません。
電源をオフにして動作音がしなくなったら、取付をします。

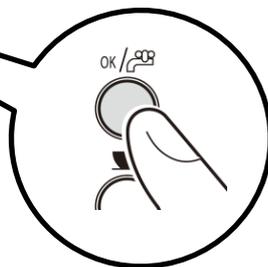
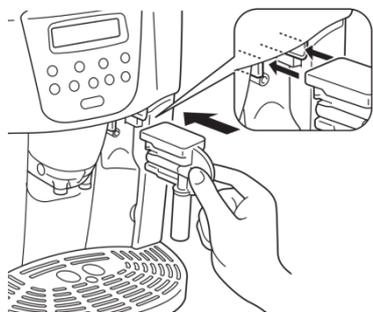


セットしにくい場合は、無理にセットしようとしなくて、以下の作業を行ってください。

- ①「抽出ユニット」は取り付けず、「カス受け」「トレイ」のみセットします。
- ②「フロントドア」を閉め、「電源プラグ」を抜きます。
- ③再度「電源プラグ」を差し込み「液晶ディスプレイ」の表示が消えるのを待ってから、「フロントドア」を開け、「抽出ユニット」をセットしてください。

15-1 ; 「マメリユウドエラー ノズルトリツケOKヲオス」表示

① 給湯ノズルをセットし、ノズルの下にカップを置いて給湯を行う



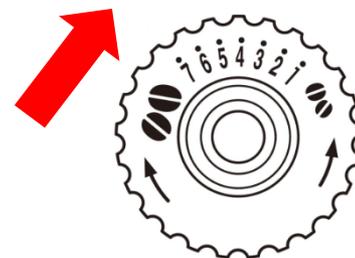
ポンプが空吸いしていることが考えられますので、給湯をして空気抜きを行います。

② グライNDER目盛を調整

<コーヒー豆を使用の場合>

「グライNDERノブ」を粗いほう（7の方向）に1目盛回してください。

「グライNDERノブ」は必ず「グライNDER」が作動している時に回してください。

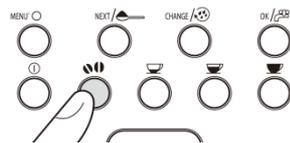
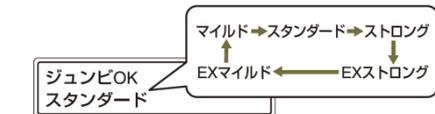


次ページに続く

15-2 ; 「マメリユウドエラー ノズルトリツケOKヲオス」表示

③ コーヒーの濃さ（量）を確認

＜コーヒー豆を使用の場合＞



ボタンで、前回よりも
うすく抽出してみてください。

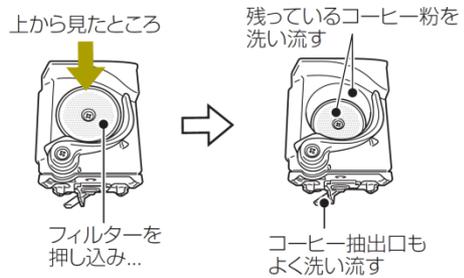
EXマイルド マイルド スタンダード ストロング EXストロング



量を少なく（うすく）する

④ 抽出ユニットを確認

抽出ユニットに目詰まりがあるようでしたら、抽出ユニットを取出し、水に約5分間浸した後、フィルターに残っているコーヒー粉を水で流し抽出ユニットを洗浄する。



抽出ユニットは電源を切らないと取り外しできません。

抽出ユニットは洗剤や研磨剤、漂白剤は使用しないで必ず水洗いのみで洗浄してください。食器洗浄機は使用できません。

改善されなかった場合は、お手数ですがデロンギ・エスプレッソコールセンターへご連絡下さい

16 ; 除石灰（ジョセツカイ）表示が消えない

ジョセツカイ

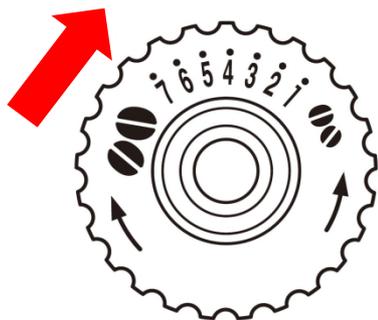
石灰の除去を行ったが、
【ジョセツカイ】の表示が消えない・・・



作業工程が一部抜けていたり最後まで終わっていない可能性があります。
取扱説明書通りの操作方法で再度、石灰の除去の作業を行ってください。

17 ; 豆が挽けない / グライNDERが空回りする

グラインダー内の詰まりが考えられます
グラインダー目盛を'7'にし、何度か抽出を行ってください



設定を'7'にする

「グラインダーノブ」は必ず
「グラインダー」が作動している時に
回してください。

刃と刃の間隔が広くなり、詰まっている豆や異物が落ちます。
解決したら、目盛は元の数値に戻してください。

コーヒー豆の表面に油脂が出ている場合、コーヒー豆同士がくっついたり、ホッパー内に油脂が付着すると、グラインダー部分まで落ちにくくなる場合があります

- ホッパー内のコーヒー豆を取り出し、キッチンペーパーなどで油分を乾拭きする。
- グラインダー稼働時に豆が挽かれずグラインダーが空回りしている場合は、スプーンやヘラなどでコーヒー豆をグラインダーに送り込む。



もくじへ戻る

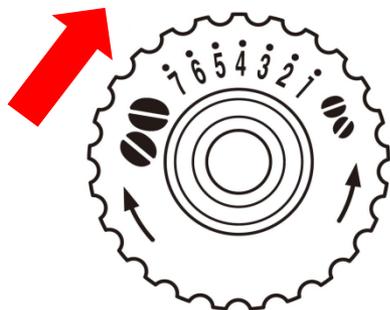
DeLonghi

18 ; 豆を挽く時間が長くなった

- 豆ホッパーに、入っている豆の量が少なくありませんか？

豆を計量スプーンなどで補充しているなど、グラインダー挽き時間未満の豆量を投入しますと、マシンは豆が少ないと検知して挽き時間が長くなります

- グラインダーノブの設定を“7”にし、何度か抽出してください



豆を挽いている途中で豆が無くなってしまったり、「グラインダー」内に詰まりが生じた場合、抽出ユニットに落ちる粉量が少なくなるため、粉量を多くするよう挽き時間を長く自動調整します。

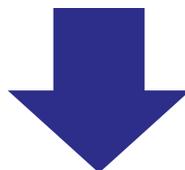
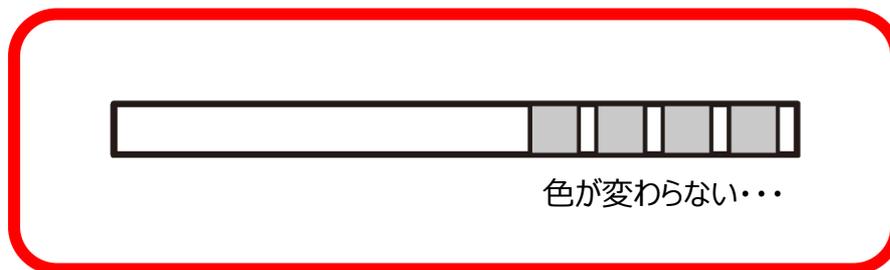
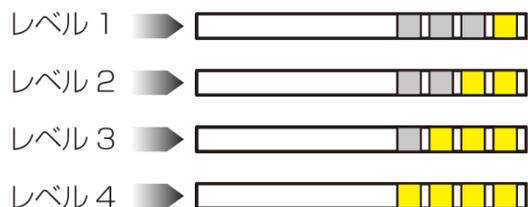
「グラインダーノブ」は必ずグラインダーが作動している時に回してください
解決したら、目盛は元の数値に戻してください。

コーヒー豆の表面に油が浮いているものをお使いの場合は、グラインダーが空回りしやすくなります。

お使いになるコーヒー豆は、焙煎度合いにもよりますが、シティからフレンチローストまでがおすすめです。フレーバーコーヒーはお使いにならないでください。

19 ; 水硬度を計っても、チェッカーの色が変わらない

- 軟水の場合、マス目に変化が見られない場合があります



ミズコウドセッテイ
レベル 1

その場合はレベル1で設定
してください

20 ; 異音がする / ビー音や大きい音

- 使用中のこれらの作動音は故障ではありません。

豆の挽きときの
「ガーッ」「ガラガラ」

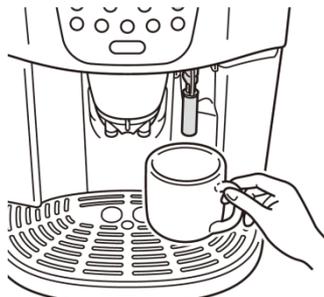
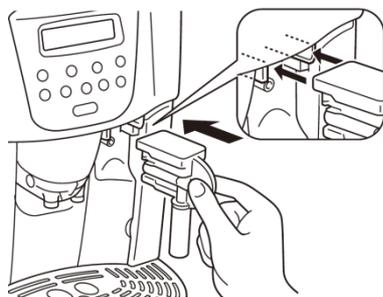
豆を挽いてからの
「ウィーン」「カタン」

コーヒー抽出時、内部洗浄時の
「ビツビツ」「ビー」

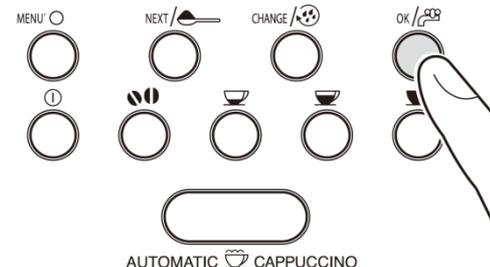
- しばらく使用していない場合、ビーという音や、大きい音が出ることがあります。

ポンプが空吸いしていることが考えられますので、給湯をして空気抜きを行います

①タンクに水を入れ、給湯ノズルをセット ②カップをセット



③（給湯/OK）ボタンを押す



改善されなかった場合は、お手数ですがデロンギ・エスプレッソコールセンターへご連絡下さい